

令和4年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター運営方針及び事業計画（案）

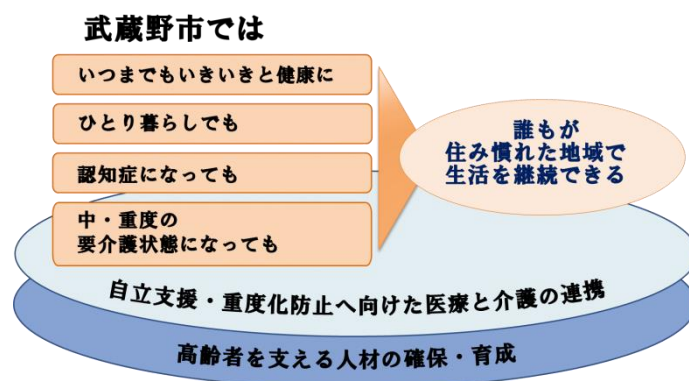
1 令和4年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター運営方針

(1) 基本方針

本市においては、第六期長期計画の重点施策として推進する「地域共生社会」には本市がこれまで進めてきた「地域リハビリテーション」の理念との共通点がみられるため、武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に掲げられている「武蔵野市ならではの地域共生社会」を基本理念とする。そして、これまでどおり、認知症や中・重度の要介護状態になっても、高齢者の尊厳を尊重し、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることが出来るよう“誰もが住み慣れた地域で生活を継続できる”を基本目標として設定する。

また、“まちぐるみの支えあいの仕組みづくり-地域包括ケアの推進・強化に向けて-”を基本方針とし、基本目標の実現のため必要な人材の確保に取り組むとともに医療と介護の連携や、従来どおり、市民と行政が一体となって取り組みを推進・強化していく。

2025年に向けて武蔵野市が目指す“高齢者の姿とまちづくり”



「武蔵野市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」より

本市では、従来から直営の基幹型地域包括支援センター1か所と委託による在宅介護・地域包括支援センター6か所の体制により、小地域完結型で重層的な相談支援体制を構築してきた。

直営の基幹型地域包括支援センターは基本理念・方針・目標の推進・強化に向けて、全市的な視点に立って、相談支援や権利擁護、認知症高齢者支援、感染症・フレイル予防対策等の具体的な支援の検討を行い実施するよう取り組む。

そして市内6か所の在宅介護・地域包括支援センターは地域包括ケアシステムの拠点として、小地域完結型の相談・サービス提供体制の中心的な役割を継続していく。

また、本市においては、平成18年度から武蔵野市地域包括支援センター運営協議会（平成28年度から「武蔵野市地域包括ケア推進協議会」に改称）を設置し、センターの運営状況の評価等を実施してきた。平成29年度の介護保険法改正において、地域包括支

そして令和４年度は、これまでの新型コロナウイルス感染症の影響があった高齢者のフレイル予防や感染症対策に力を入れて取り組んでいく。

[illegible]

直営 1 か所。全市的な視点に立つて、市内 6 か所の在宅介護・地域包括支援センター間の総合調整や後方支援を行う。また、介護、障害、子ども・子育て、生活困窮等の複合的な課題を抱えた相談については市関係各課等と連携して対応する。

主な資格	保健師及び 看護師	社会福祉士	主任介護支援 専門員	介護支援 専門員	一般事務	計
市職員	5 *1				1	6
関連法人派遣受入		1	1			2
会計年度任用職員		1 *2	2	1		4
計	5	2	3	1	1	12

(令和4年6月1日現在)

2

イ 在宅介護・地域包括支援センター

委託型 6 か所。地域包括ケアシステムの拠点として、小地域完結型の相談・サービス提供体制を担う。

在宅介護・地域包括支援センター	ゆとりえ	吉祥寺本町	高齢者総合センター	吉祥寺ナーシング	桜堤ケアハウス	武蔵野赤十字	総数
受託法人名	社会福祉法人武蔵野	特定非営利活動法人日本アビリティーズ協会	公益財団法人武蔵野市福祉公社	社会福祉法人至誠学舎東京	社会福祉法人武蔵野	日本赤十字社東京都支部	
担当地区	吉祥寺東町 吉祥寺南町 御殿山 1 丁目	御殿山 2 丁目 吉祥寺本町	中町・西久保 緑町・八幡町	吉祥寺北町	関前・境 桜堤	境南町	
職員配置数 () は令和 3 年度	7 (7)	4.5 (4.5)	9 (9)	5 (5)	7 (7)	5 (5)	37.5 (37.5)
セ 地 ン 域 タ 包 ー 括 配 支 置 援	保健師	1	1	1	1	1	6
	社会福祉士	1	1	1	1	1	5
	主任介護支援専門員	1	1	1	1	1	6
介護支援専門員等	3	2.5 *1	6	2	3	1	16.5
生活支援コーディネーター（第 2 層）*2	1	1	1	1	1	1	6
人口 *3	28,486	13,758	39,447	16,513	34,981	15,115	148,300
高齢者人口 *3	6,930	2,925	8,880	3,814	7,024	3,445	33,018
高齢化率	24.33%	21.26%	22.51%	23.10%	20.08%	22.79%	22.26%
75 歳以上高齢者人口	3,824	1,564	4,686	2,151	3,837	1,856	17,918
後期高齢化率	13.42%	11.37%	11.88%	13.03%	10.97%	12.28%	12.08%
職員 1 人当たりの 高齢者数 () は令和 3 年度	990 (982)	650 (648)	987 (983)	763 (763)	1,003 (1,002)	689 (683)	880 (876)

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

*1 兼務者は 0.5 人として計上。

*2 生活支援コーディネーター（第 2 層）については、再掲あり。

*3 人口、高齢者人口については、令和 3 年 10 月 1 日現在

2 令和4年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター事業計画

(1) 地域包括支援センターの運営

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担
組織・運営体制	事業を適切に運営するための体制構築	市や他センターとの連携、適正な人員配置の促進など事業を適切に運営するための体制を構築	〈基幹型〉 適正な人員配置の確認 市と各在宅介護・地域包括支援センターの情報や対応の方向性を揃えるため定期的な連絡会の開催
	職員の確保・育成	職員研修の実施、研修への参加等職員の資質の向上に向けた取組を実施	〈基幹型〉 在宅介護・地域包括支援センター職員研修として、定期的な研修会の開催企画・実施
	利用者が相談しやすい相談体制の構築	夜間・休日の相談対応を実施	〈在支・包括〉 夜間・休日の相談対応
		基幹型及び在宅介護・地域包括支援センターを市民に周知	〈基幹型〉 市 HP 活用や配布物を利用した全市的な周知 〈在支・包括〉 主に担当エリアへ周知
個人情報の保護	個人情報保護・情報セキュリティの徹底	個人情報管理体制を構築し、個人情報を適切に管理	〈基幹型〉 庁内の個人情報、情報セキュリティ研修の実施 各在宅介護・地域包括支援センターの個人情報管理体制・研修の確認 〈在支・包括〉 各法人の個人情報、情報セキュリティに則った研修会を実施(年1回)
利用者満足の向上	利用者満足度向上に資する相談・苦情対応体制の整備	苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備	〈基幹型〉 苦情に対する対応や苦情内容の記録報告の体制を整備 〈在支・包括〉 各法人の苦情相談対応の規則に従った体制整備
	相談者のプライバシーの確保	相談時にプライバシーに配慮した環境を確保	〈基幹型〉 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保 〈在支・包括〉 相談時にプライバシーに配慮した環境を確保

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担
総合相談支援	地域における関係機関・関係者のネットワーク構築	地域ネットワーク構築にむけた社会資源の発見・整備	〈基幹型〉 全市的な関係機関や庁内における連携、ネットワークの構築 〈在支・包括〉 地域の社会資源の発見とネットワークの構築
	地域における高齢者の実態把握	要介護認定の新規申請者の実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握	〈在支・包括〉 実態把握及び台帳作成 介護サービス未利用者の定期的な実態把握
	相談事例解決のための対応	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援	〈基幹型〉 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の連絡調整 〈在支・包括〉 在宅の方の相談支援
	家族介護者や複合的課題を有する世帯等への支援	家族介護者の相談支援 複合的な課題に対する関係機関との連携	〈基幹型〉 庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の相談支援
権利擁護	成年後見制度活用 of 取組み	市民に対する成年後見制度の利用促進	〈基幹型〉 武蔵野市福祉公社成年後見利用支援センターと連携して研修会の企画検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、研修内容の検討
	高齢者虐待への対応	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修を実施(年1回)	〈基幹型〉 研修会の方向性及び内容の検討、研修会の開催 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、研修内容の検討、研修会の実施
		市民に対する虐待防止に関する普及啓発を実施	〈基幹型〉 普及啓発方法の検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して普及啓発を実施
		高齢者及び障害者虐待防止連絡会議の実施(年2回)	〈基幹型〉 ・障害者福祉課と共催で開催 ・関係各課や機関とともに、虐待防止の取り組みについて検討 〈在支・包括〉 会議に出席

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担
権利擁護	高齢者虐待への対応	市民に対する見守り・孤立防止に関する普及啓発への出席(年2回)	<基幹型> ・普及啓発方法の検討 ・地域支援課主催の見守り・孤立ネットワーク連絡会議に出席して関係機関と連携を図る <在支・包括> 会議に出席
	消費者被害防止の取組み	・消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化連携会議 ・消費生活センターとの連携	<基幹型> 会議内容について関係課と調整等。連絡協議会へ出席。消費生活センター主催連携会議出席 <在支・包括> ネットワークを活用した個別支援
	人生最期等の過ごし方に対する自己決定支援	エンディング(終活)支援	<基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発の実施
包括的・継続的ケアマネジメント支援	介護支援専門員支援体制の構築	主任介護支援専門員研修会開催(年1回)	<基幹型> 研修企画・開催
		介護支援専門員研修会開催(年1回)	<基幹型> 研修企画・開催
	介護支援専門員に対する相談対応	困難事例に対する相談支援	<基幹型> 課題解決のため、多機関と連携・調整 <在支・包括> ケアマネジャーと連携した個別支援
地域ケア会議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	ケアプラン指導研修の実施(年12回 個別ケース約120件)	<基幹型> 研修委員会の運営 <在支・包括> 委員として出席
		地区別ケース検討会における事例検討の実施(年30回 センターごとに年5回)	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> 地区別ケース検討会の開催
		個別地域ケア会議の開催(年18回 センターごとに年3回)	<基幹型> 開催内容の検討・整理 <在支・包括> 会議開催

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担
地 域 ケ ア 会 議	個別課題や地域課題解決のための、関係者との連携による地域ケア会議の開催	エリア別地域ケア会議の開催 (年6回 センターごとに年1回)	〈基幹型〉 開催支援 〈在支・包括〉 会議開催
		全市的地域ケア会議への出席(年1回)	〈基幹型〉 会議内容について関係各課・関係機関と調整等 〈在支・包括〉 会議に出席
	個別事例や地域課題解決に向けた地域ケア会議の活用	個別地域ケア会議及びエリア別地域ケア会議における記録の作成および状況確認	〈基幹型〉 計画・報告様式を作成 在支・包括に情報提供 〈在支・包括〉 記録の作成。事例検討後3か月を目途に状況確認
介護予防 ケアマネジメント	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の取組	要支援認定者・総合事業対象者のサービスの質の担保 ・介護予防個別検討会議の実施(サービス利用全ケース)	〈基幹型〉 ・サービス利用の要支援認定者・総合事業対象者全員の介護サービスプランの検討 ・介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の委託事業所の支援
在宅医療 ・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取組	「脳卒中地域連携パス」等多職種連携ツールの検証や活用する方策の検討	〈基幹型〉 地域支援課と連携して方策を検討 〈在支・包括〉 基幹型と連携して方策を検討
		在宅医療介護連携支援室と協働した医療介護連携の取組推進	〈基幹型〉 ・在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応 ・在宅医療介護連携推進協議会に出席 〈在支・包括〉 医療介護連携に関する相談機能を強化
		入退院時支援・在宅医療介護連携の調整	〈基幹型〉 ・医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 ・地域支援課主催の入退院支援連携部会に出席 〈在支・包括〉 ・連携・相談の強化 ・個別事例の支援

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携に向けた取組	摂食嚥下支援体制の整備・推進	<基幹型> 歯科医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整 <在支・包括> 個別事例の支援
認知症高齢者支援	認知症高齢者支援の取組み	認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）の配置による認知症連携の強化	<基幹型> 武蔵野赤十字病院や医師会と連携した認知症初期集中支援チームの支援により、適切な医療・介護につなぐ。 <在支・包括> 認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む。
		在宅医療・介護連携推進協議会の認知症連携部会の運営支援（年3回）	<基幹型> 会議開催 <在支・包括> 会議に出席
		もの忘れ相談シートの活用促進	<基幹型> シートの活用・周知等 <在支・包括> 認知症相談や認知症症状で医療機関に受診する際に、シートを積極的に活用
		認知症相談事業の実施	<基幹型> ・認知症専門相談員による相談会の開催 ・医師による相談会の開催 <在支・包括> 相談に同席し、助言を行う。
		認知症初期集中支援チームの運用	<基幹型> 認知症初期集中支援チームの支援及び評価 <在支・包括> 認知症初期集中支援チームの運用
		認知症に関する普及・啓発	<基幹型> ・認知症サポーター養成講座等普及啓発方法の検討 ・チームオレンジの活動について検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を実施

事業項目		事業内容	基幹型と在支・包括との業務分担
生活支援体制整備	生活支援コーディネーターや協議体と連携した取組み	生活支援コーディネーターを中心とした地域の自主的な取組の支援 地域住民が自主的に運営する多様な通いの場を支援	〈基幹型〉 地域の関係機関や団体との連携 〈在支・包括〉 いきいきサロン等の社会資源の立ち上げ支援、事業の継続支援
		生活支援サービス整備に関する定期的な情報共有や連携強化等のための協議体と連携 ・第1層(市全域レベル)「地域包括ケア推進協議会」を協議体として位置付け ・第2層(日常生活圏域レベル)の協議体は既存の会議等を活用	〈基幹型〉 ・生活支援コーディネーター連携会議の開催 ・地域包括ケア推進協議会への報告 〈在支・包括〉 ・生活支援コーディネーター連携会議に出席 ・各地域での協議会への参加
一般介護予防	介護予防推進にむけた取組み	フレイル予防・介護予防の取り組みを推進	〈基幹型〉 健康寿命延伸のためにフレイル予防・介護予防事業の企画、実施 〈在支・包括〉 基幹型と連携して、フレイル予防・介護予防事業を実施
		介護予防事業連絡調整会議の開催(年1回)	〈基幹型〉 フレイル予防・介護予防のきっかけづくりや実際の取り組みについて、庁内介護予防事業関連部署、団体と検討、実施
指定介護予防支援		・介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関との連絡調整 ・介護保険制度の適切な運営による自立支援・重度化防止の推進	〈基幹型〉 ・指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施 ・軽度者(要支援1・2、総合事業対象者)のサービス担当者会議全件に立ち合い、サービスの質の担保を図る 〈在支・包括〉 指定居宅介護支援事業所として受託
		災害時避難行動支援体制の推進	〈基幹型〉 介護予防支援事業所としての災害時避難行動計画支援作成
感染症対策予防		感染症対策予防の推進	〈基幹型〉 庁内関係部署と連携を図り、感染対策予防等の普及啓発及び実施

(2) 在宅介護・地域包括支援センターの重点的取組

高齢者福祉 計画に 基づく方針	事業名	項目 (単位)	ゆとりえ	吉祥 本町	高齢者総合 センター	吉祥 ナーシング	桜堤 ケアハウス	武蔵野 赤十字	市内 合計
いつまでも いきいきと 健康に	いきいき サロン	アプローチ (団体・個人)	—	—	—	—	—	—	—
		新規登録数 (場所)	1	1	1	1	1	1	6
ひとり暮らしでも	安心コール 事業	アプローチ (人)	32	21	55	23	42	23	196
		新規利用開始 (人)	7	3	8	4	7	4	33
認知症に なっても	認知症初期集中 支援事業	アプローチ (件)	4	4	4	4	4	4	24
		支援件数 (件)	2	2	2	2	2	2	12
中・重度の 要介護状態になっ ても	地域ケア会議	地区別ケース 検討会	5	5	5	5	5	5	30
		個別 地域ケア会議	3	3	3	3	3	3	18
		エリア別 地域ケア会議	1	1	1	1	1	1	6